SRL Monthly Report
半導体産業の動向と将来に関する独自の分析と解説を中心としたレポート
2026. 9

2026年9月（No.447）

主な内容とページ

上期半導体貿易、韓国と台湾が主役 1
半導体輸入、主要国が大幅増 2
台湾、輸入の 4 割近く韓国から 3
韓国の輸出が急伸、 4
日本は輸出では世界 9 位を確保 5
中国の輸出、成長軌道入り 5
中国、メモリ市場への参入ラッシュ必至 7
制御できない半導体市場(SRL だより) 8

上期半導体貿易、韓国と台湾が主役

今年上期の世界の半導体貿易は輸出では韓国、輸入では台湾が最大の伸びを確保した。

1. 韓国の半導体輸出は 2026 年上期で前年比 2.4 倍に急伸。メモリ高騰を謳歌した。

2. 輸入では台湾が最大の伸びを実現。韓国からの輸入が急増しており、AI ブームで「韓国―台湾」が供給面で世界の中心となる構図が鮮明となった。

3. 中国は半導体の最大の貿易国として存在を高め、このところ輸出で成長を加速。メモリ市場の成長に乗り、伸びに加速をつけている。

制御できない半導体市場(SRL だより)

半導体の仕事に関わって半世紀余り。仕事柄、この分野の景気や成長ぶりに気を留めているが、今回のメモリ品不足、それに伴う市場の伸びは、最大級、経験したことのない動き。品不足の半導体の価格は通常の 2 倍増は普通で、ものによっては数倍に達する。現実離れ、あり得ないと思われることが、起こっている。

市場は活況を取り戻し、今まで動きがなく時間が止まっていたような分野でも慌ただしくなる。品不足で無いとみられた半導体が出てくることもしばしば。一方で、半導体を使う工場が止まり大打撃も起こるが、進行中の今現在では全貌はわからず、時間がたってから深刻さ、衝撃の大きさが認識される例が多い。

はっきりしているのは、半導体は制御できない、計画通りにはいかない面が多いということだろう。何故か、それだけ影響力を持ち、新たな世界を切り開く力を持っているからだろう。それは、大国、大企業、資本家、軍事力など既存の勢力では決して操ることが出来ない。手に負えないのは半導体だけではないとしても。。。。

（大竹　修）

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

http://www.semiconresearch.co.jp/

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。
この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。　2026 年　版権所有　株式会社 SRL

SRL　Monthly　Report
2026 年 9 月（毎月 1 回発行）第 37 巻 9 号（通巻 447 号）

発行元：株式会社 SRL
〒187-0011　東京都 小平市鈴木町　2-865-67
TEL 042(318)7729
編集・発行人/大竹　修

SRL Monthly Report
September 2026, No.447

Semicon Research Ltd.
2-865-67　Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011　Japan
Publisher/Editor Osamu　Ohtake

© ㈱SRL　2026

個人利用購読料金 1 年分 12 号　107,800 円（税込み）